

平成28年度

事務事業評価表 A（平成27年度の実績評価）

記入年月日  
平成 28 年 3 月 23 日

事務事業名: スポーツ推進委員運営事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助. 担当: 030403000094. 所属課: 090501. 政策体系: 生涯スポーツ活動の振興. 予算科目: 011006010200. 事業期間: 単年度繰返し (平成18年度~).

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 市から委嘱(2年間)を受けたスポーツ推進委員(定数30名)が、住民のスポーツ活動促進のための組織育成や行政機関の行うスポーツに関する行事及び事業に協力し、住民のスポーツについての理解を深めてゆく事業である。(定数30名: 現在の委嘱者は29名). ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: 報酬・費用弁償支払業務, 市スポーツ推進委員会(役員会・総会・定例会)の開催業務, 推進委員の委嘱業務, 全国・関東・県スポーツ推進委員功労者表彰推薦業務, 学校施設開放巡回業務(8月), 推進委員と市民との合同研修会業務(9月), 体育協会主催「ふれあいウォーク」への協力参加業務(10月), 県女性スポーツ推進委員研修会参加業務, 県西部地区スポーツ推進委員長協議会・県スポーツ推進委員協議会への参画業務, さくらマラソン大会運営・協力業務.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段 (担当者の活動内容): ④活動指標 (活動量を表す指標). ②対象 (誰、何を対象にしているのか): ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標). ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか): ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標).

(3) 投入量 (事業費) の推移. 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), 期間限定総投入量. 事業費内訳: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源. 事業費計(A), 正規職員従事人数, 人件費 (述べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

事業費の内訳. 27年度事業費 実績 (千円) vs 28年度事業費 予算 (千円). 01 報酬, 08 報償費, 09 旅費, 11 需用費, 19 負担金補助及び交付金. 合計: 533 (実績) vs 899 (予算).

(4) 当該年度の実施内容. 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業	事務事業No.	30403000094	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 旧3町村よりの継続事業。スポーツ振興法(昭和36年法律第141号)の規定に基づき桜川市スポーツ推進委員規則を定め、スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を図る。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・ふれあいウォークは、これからもずっと続けてほしい。 ・平成31年開催の国体に向けて、会場の気運を盛り上げ、開催地からの選手の発掘を図ってほしい。 ・競技性がないほうが参加しやすい。 ・市内学校施設開放事業について近年、校庭、体育館等の使用方法や学校敷地内での喫煙等の、苦情があるため、見回りを行い、各種団体への助言を行う。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第1次総合計画第3章豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくりで、総合型スポーツクラブの拡充を政策として掲げているが、スポーツ推進委員とは密接な連携がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 今後少子高齢化が進む中で、生涯スポーツを通じて、健康で明るい豊かな生活を送るとともに、地域住民が交流を持ち、地域における連帯感を生み、住んでよかったと思えるような社会づくりを進める。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ニュースポーツといわれる、スポーツ吹き矢・バランスボールなどを広く市民に紹介をして、今まで運動をしていなかった市民にもスポーツに興味を持ってもらうことを実施していくので、更なる向上の余地はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 第1次総合計画第3章豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくりで、自分の健康は自分で守るという意識を持たせ、スポーツ活動に積極的に参加することを政策として掲げている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はないため、統廃合や連携は出来ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 条例に基づき、スポーツ推進委員の会議、事業への出席には報酬が伴うので、事業費(報酬)の削減は活動の停滞につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 特定の個人や集団に利益等が生じないため、受益者負担はなじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・すべての市民が生涯を通して、年齢や体力に応じてスポーツ活動を行う「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、事業を実施する。 ・スポーツ推進委員構成を見直し、29名になった。今後も、委員の高年齢化・男女の比率当を考え、構成については検討していく。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 委員の高年齢化・男女の比率当を考え、構成については検討していく。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---